

Chisato FUKUSHIMA Women 100m&200m WINNER

Yukifumi MURAKAMI Men JT WINNER



Playback Guanghou

[プレイバック・広州 2010]

中国・広州で11月21日から27日にかけて開催された、 2010年アジア大会。日本のメダルは金4、銀8、銅8の計 20個の成績を残した。

女子では福島千里(①、北海道ハイテクAC)が100m、 200mの2冠に輝いたほか、4×100mRでもアンカーを務め て銅メダル獲得の牽引車となった。

日本選手団の主将を務めた村上幸史(2)が83m15の自己 新で男子やり投を制し、女子やり投でも海老原有希(3)が 61m56の日本新をマークして優勝と、スズキ浜松AC勢がア ベックでアジアの頂点。両種目ともに、日本人初めてのタ イトルだった。

また、バーレーンが男子5000m、10000m、女子1500m、 5000mで金メダルを獲得して中長距離を席巻し、男子4× 100mRで2位・チャイニーズ・タイペイ、3位・タイ、4位・イン ドと続き、女子4×100mRではタイ、4×400mRではインド がそれぞれ制するなど、東南アジア勢の台頭が目立った。

1年後のテグ世界選手権、2年後のロンドン・オリンピッ クへ向けて、日本勢が健闘を見せた一方で中東や東南アジ アが力を伸ばしていることが如実に表れた大会でもあった。

※所属、苗字は当時のもの



Yuki EBIHARA Women JT WINNER

The Japanese Medal Winner in Asian Games Guangzhou 2010 広州アジア大会日本人メダリスト

Event	Pos	Mark	Name/Team	氏名(所属)
Men 200m	2nd	20.74(+1.4)	Kenji FUJIMITSU	藤光 謙司(セーレン)
Men 400m	2nd	45.32	Yuzo KANEMRU	金丸 祐三(大塚製薬)
Men Marathon	2th	2:12:46.	Yukihiro KITAOKA	北岡 幸浩(NTN)
Men 400mH	3rd	50.37	Naohiro KAWAKITA	河北 尚広(石丸製麺)
Men 50kmW	3rd	3:47:41.	Koichiro MORIOKA	森岡紘一朗(富士通)
Men 4×400mR	2nd	3.02.43	JAPAN	(石塚祐輔・藤光謙司・廣瀬英行・金丸祐三)
Men HJ	2nd	2.23	Hiromi TAKAHARI	高張 広海(日立ICT)
Men HT	3rd	68.72	Hiroaki DOI	土井 宏昭(千葉陸協)
Men JT	1st	83.15	Yukifumi MURAKAMI	村上 幸史(スズキ浜松AC)
Women 100m	1st	11.33(+1.2)	Chisato Fukushima	福島 千里(北海道ハイテクAC)
Women 200m	1st	23.62(+1.1)	Chisato Fukushima	福島 千里(北海道ハイテクAC)
Women 400m	2nd	52.68	Asami CHIBA	千葉 麻美(ナチュリル)
Women 400mH	3rd	56.83	Satomi KUBOKURA	久保倉里美(新潟アルビレックスRC)
Women 3000mSC	10.01.25	10.01.25	Minori HAYAKARI	早狩 実紀(京都光華AC)
Women 20kmW	2nd	1:30:34.	Masumi FUCHISE	渕瀬真寿美(大塚製薬)
Women 4×100mR	3rd	44.41	JAPAN	渡辺真弓・髙橋萌木子・佐野夢加・福島千里)
Women PV	3rd	4.15	Tomomi ABIKO	我孫子智美(滋賀レイクスターズ)
Women HT	3rd	62.94	Yuka MUROFUSHI	室伏 由佳(ミズノ)
Women JT	1st	61.56	Yuki EBIHARA	海老原有希(スズキ浜松AC)
Women HEP	2nd	5606	Yuki NAKATA	中田有紀(日本保育サービス)